

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京柔道整復専門学校
設置者名	学校法人杏文学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
柔道整復専門課程	柔道整復科 柔道整復コース 昼間部 午前(3年制)	夜・通信	330 時間	80×3=240 時間	
	柔道整復科 柔整トレーナーコース 昼間部 午後(3年制)	夜・通信	330 時間	80×3=240 時間	
	柔道整復科 柔道整復コース 夜間部(3年制)	夜・通信	330 時間	45×3=135 時間	
(備考)		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関する箇所は色付け(掲載： https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京柔道整復専門学校
設置者名	学校法人杏文学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。
(掲載：<https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	接骨院経営者	2023.04.01 ～ 2025.03.31	学校運営体制への チェック機能
非常勤	会社経営者	2023.04.01 ～ 2025.03.31	学校運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京柔道整復専門学校
設置者名	学校法人杏文学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
柔道整復科 柔道整復コース	昼間部 午前 3年制
柔道整復科 柔整トレーナーコース	昼間部 午後 3年制
柔道整復科 柔道整復コース	夜間部 3年制
<p>【作成について】</p> <p>各授業科目については、柔道整復師学校養成施設指定規則に沿って、授業科目を設定又、学校独自の単位として授業科目も設定している。講義内容については、各授業担当教員による講義内容の検討・検証に基づき作成を行っている。</p> <p>シラバスの作成に関しては、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法等、学内統一様式でシラバスを作成しシラバスに沿って授業を実施している。</p> <p>【時期について】</p> <p>翌年度の講義予定(授業計画)は3月に担当教員が作成し、校長の決裁を経て承認される。4月中旬に、当年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則、教務規定において学業成績の評価、履修、進級判定、卒業判定について規定している。定期試験に関しては、筆記試験、実技試験または口頭試験によって行うものとする。

(参考)

教務規定第20条

進級認定は、教員会議に於いて審議される。学年評価点数が60点未満の者は進級が認められない。又、60点以上の者であっても、出席状況等を勘案し総合評価により判定する。

教務規定第22条

卒業認定は、全教科目の平均点数が60点以上の者が対象となるが、出席状況等を勘案し、教員会議を経て判定する。

教務規定第7条

卒業認定に必要な履修単位は夜間部104単位、昼間部111単位とする。

学則第15条

学業成績の評価は、試験の結果、実習の結果及び履修状況等を総合的に勘案し評価する。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

2019年度よりGPA(Grade Point Average)を導入し、学内の成績評価として使用する。GPAは学生の履修した1授業科目あたりの平均成績を指す。

本校では学業優秀者の表彰候補者選出などに活用します。

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって評価される。本校では各科目の評価について100点満点を基準として60点以上を合格とする。

GPAは該当履修期間中の履修科目の成績評価(A・B・C・D・E)を4点、3点、2点、1点、0点に換算し、その総和を総単位数で割って得られる1単位あたりの平均ポイントである。

成績評価 (100点満点)	内容	評価表示	GP
90~100点	優れた成績	A	4
70~89点	妥当と認められた成績	B	3
60~69点	合格と認められた成績	C	2
1~59点	不合格	D	1
0点	無資格(受験資格なし)	E	0

GPA (グレード・ポイント・アベレージ) =

$$\frac{(A科目GP) + (B科目GP) + (C科目GP) + \dots}{(総単位数)}$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

東京柔道整復専門学校は、昭和 28 年創立の柔道整復師養成施設である。
本校の教育理念として「建学の精神」に則り、品位ある人間性溢れた医療従事者、優れた研究者及びそれらを育成する教育者を養成することを教育理念としている。

卒業要件については、教務規定第 2 2 条に則って判定する。

<参考>

教務規定第 2 2 条

卒業認定は、全教科目の平均点数が 60 点以上の者が対象となるが、出席状況等を勘案し、教員会議を経て判定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京柔道整復専門学校
設置者名	学校法人杏文学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP上で掲載 https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科 コース名	専門士	高度専門士		
医療		柔道整復専門課程	柔道整復科 柔道整復コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼 (午前)	2,940 単位時間/単位	1,965 単位時間 /単位	75 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	720 単位時間 /単位	
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		176人	0人	13人	17人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.4.を参照
学修支援等
（概要） 資格・免許取得を目標とした国家試験対策講座、月ごとに模擬国家試験や、授業時間外に行う補講講座。本校特有の指導体制を整えている。 また、国家試験不合格者に対し、翌年の再チャレンジができるように卒業生対象の講

座（杏文塾）も準備している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45人 (100%)	1人 (2%)	29人 (65%)	15人 (33%)
（主な就職、業界等） 接骨院、整形外科、介護保険施設			
（就職指導内容） 担任と就職担当者が就職相談を常に対応。担任が求人マッチングサイト、就職ハンドブックを活用し就職指導。就職担当者が年に1回接骨院等（整形外科・介護施設）を集め就職相談会を実施。毎年1・2年生を対象に外部企業による就職意識の向上を目的とした講義を実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
168人	12人	7.1%
（中途退学の主な理由） 成績不良の為（留年含む）・資格取得の意思喪失・進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 対象となる学生に担任, 学生主任, 教務部長が相談 必要によりカウンセラーによる対応		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
柔道整復学科 昼間部 午前 (3年制)	400,000 円	1,000,000 円	320,000 円	
柔道整復学科 昼間部 午後 (3年制)	400,000 円	1,000,000 円	320,000 円	
柔道整復学科 夜間部 (3年制)	100,000 円	950,000 円	320,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校では、学校教育法上の努力義務である学校関係者評価を実施して、関連業界・高等学校・保護者・卒業生などを委員とする学校関係者評価委員会を設置している。学校関係者評価は、学校で実施している自己点検・自己評価の結果や課題の改善方法について助言を頂き、次年度の重点目標の設定や具体的な取組みの改善に役立てている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
接骨院 院長	2023. 4. 1～2025. 3. 31	企業
教育企画センター	2023. 4. 1～2025. 3. 31	学識経験者
元中学・高等学校教頭	2023. 4. 1～2025. 3. 31	高等学校関係者
在校生 保護者	2023. 4. 1～2025. 3. 31	保護者
町会会長	2023. 4. 1～2025. 3. 31	地域関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html
--

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京柔道整復専門学校
設置者名	学校法人杏文学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP上で掲載 https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科 コース名	専門士	高度専門士		
医療		柔道整復専門課程	柔道整復科 柔道整復コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼 (午後)	2,940 単位時間/単位	1,965 単位時間 /単位	75 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	単位時間 /単位	720 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		167人	0人	12人	17人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.4.を参照
学修支援等
（概要） 資格・免許取得を目標とした国家試験対策講座、月ごとに模擬国家試験や、授業時間外に行う補講講座。本校特有の指導体制を整えている。 また、国家試験不合格者に対し、翌年の再チャレンジができるように卒業生対象の講座（杏文塾）も準備している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43人 (100%)	1人 (2%)	34人 (79%)	8人 (19%)
（主な就職、業界等） 接骨院、整形外科、介護保険施設			
（就職指導内容） 担任と就職担当者が就職相談を常に対応。担任が求人マッチングサイト、就職ハンドブックを活用し就職指導。就職担当者が年に1回接骨院等（整形外科・介護施設）を集め就職相談会を実施。毎年1・2年生を対象に外部企業による就職意識の向上を目的とした講義を実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
169人	17人	10.0%
（中途退学の主な理由） 成績不良の為（留年含む）・資格取得の意思喪失・進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 対象となる学生に担任, 学生主任, 教務部長が相談 必要によりカウンセラーによる対応		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
柔道整復学科 昼間部 午前 (3年制)	400,000 円	1,000,000 円	320,000 円	
柔道整復学科 昼間部 午後 (3年制)	400,000 円	1,000,000 円	320,000 円	
柔道整復学科 夜間部 (3年制)	100,000 円	950,000 円	320,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
入学金減免・免除制度あり 昼間部 (午前・午後) A0 募集・同窓生募集・学校推薦募集・医療系資格者募集・後継者育成募集の学生を対象に 400,000 円～100,000 円の減免・免除 夜間部 同窓生推薦募集 (本校の卒業生・在校生に推薦された) を対象に 100,000 円の免除				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
本校では、学校教育法上の努力義務である学校関係者評価を実施して、関連業界・高等学校・保護者・卒業生などを委員とする学校関係者評価委員会を設置している。学校関係者評価は、学校で実施している自己点検・自己評価の結果や課題の改善方法について助言を頂き、次年度の重点目標の設定や具体的な取組みの改善に役立っている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
接骨院 院長	2023. 4. 1～2025. 3. 31	企業
教育企画センター	2023. 4. 1～2025. 3. 31	学識経験者
元中学・高等学校教頭	2023. 4. 1～2025. 3. 31	高等学校関係者
在校生 保護者	2023. 4. 1～2025. 3. 31	保護者
町会会長	2023. 4. 1～2025. 3. 31	地域関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京柔道整復専門学校
設置者名	学校法人杏文学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP上で掲載 https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科	コース名	専門士	高度専門士	
医療		柔道整復専門課程	柔道整復科 柔道整復コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,760 単位時間/単位	1,935 単位時間 /単位	75 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	単位時間 /単位	570 単位時間 /単位
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		140人	0人	14人	16人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.4.を参照
学修支援等
（概要） 資格・免許取得を目標とした国家試験対策講座、月ごとに模擬国家試験や、授業時間外に行う補講講座。本校特有の指導体制を整えている。 また、国家試験不合格者に対し、翌年の再チャレンジができるように卒業生対象の講座（杏文塾）も準備している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	13人 (36%)	23人 (64%)
（主な就職、業界等） 接骨院、整形外科、介護保険施設			
（就職指導内容） 担任と就職担当者が就職相談を常に対応。担任が求人マッチングサイト、就職ハンドブックを活用し就職指導。就職担当者が年に1回接骨院等（整形外科・介護施設）を集め就職相談会を実施。毎年1・2年生を対象に外部企業による就職意識の向上を目的とした講義を実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
130人	17人	13.0%
（中途退学の主な理由） 成績不良の為（留年含む）・資格取得の意思喪失・進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 対象となる学生に担任, 学生主任, 教務部長が相談 必要によりカウンセラーによる対応		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
柔道整復学科 昼間部 午前 (3年制)	400,000 円	1,000,000 円	320,000 円	
柔道整復学科 昼間部 午後 (3年制)	400,000 円	1,000,000 円	320,000 円	
柔道整復学科 夜間部 (3年制)	100,000 円	950,000 円	320,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
入学金減免・免除制度あり 昼間部 (午前・午後) A0 募集・同窓生募集・学校推薦募集・医療系資格者募集・後継者育成募集の学生を対象に 400,000 円～100,000 円の減免・免除 夜間部 同窓生推薦募集 (本校の卒業生・在校生に推薦された) を対象に 100,000 円の免除				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
本校では、学校教育法上の努力義務である学校関係者評価を実施して、関連業界・高等学校・保護者・卒業生などを委員とする学校関係者評価委員会を設置している。学校関係者評価は、学校で実施している自己点検・自己評価の結果や課題の改善方法について助言を頂き、次年度の重点目標の設定や具体的な取組みの改善に役立っている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
接骨院 院長	2021.4.1～2023.3.31	企業
教育企画センター	2021.4.1～2023.3.31	学識経験者
元中学・高等学校教頭	2021.4.1～2023.3.31	高等学校関係者
在校生 保護者	2021.4.1～2023.3.31	保護者
町会会長	2021.4.1～2023.3.31	地域関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<https://www.kyobun.ac.jp/gakkou/disclosure.html>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	49
学校名	東京柔道整復専門学校
設置者名	学校法人杏文学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		56人	53人	53人
内 訳	第Ⅰ区分	39人	35人	
	第Ⅱ区分	13人	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				53人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	-		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計			
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。